

NICU に入院した赤ちゃんのお母様へ

臨床研究に関するお知らせ

研究課題名：胎便吸引症候群発症における臍帯炎の関連性の検討

西部医療センター小児科では下記の研究を行っています。

(調査期間：2018 年 5 月～2020 年 3 月 30 日まで)

【目的】

混濁した羊水は全分娩 10-15%に認められます。この混濁した羊水の中で産まれた赤ちゃんのうち、出生後に呼吸障害を起こす胎便吸引症候群 (MAS^{※1}) を発症するのは 5%と言われています。MAS の発症には赤ちゃんの仮死 (生まれたばかりの赤ちゃんが呼吸、循環、中枢神経系の不全状態に陥ること) が関連しているとされていますが、仮死ではない赤ちゃんにも多く見られます。混濁した羊水では混濁していない羊水と比べて、子宮内炎症の合併が多いと言われており、MAS 発症には仮死以外の要因もあるのではないかと考えています。MAS の診断は、①羊水混濁、②仮死がある、③MAS に特徴的なレントゲン所見を伴うの①～③を満たしていれば診断は容易です。しかし、これらの所見がなく、診断や治療に難渋することがあります。

この研究は、MAS 発症した赤ちゃんとそうでない赤ちゃんの臨床背景 (羊水混濁の有無や仮死の有無や子宮内炎症の有無等) を検討することで、①～③以外の MAS 発症の要因を見つけ、より適切な MAS 診断が行えるようになることを目的として行います。

※1：MAS とは、分娩中に胎児が胎便の混入した羊水を気道内に吸引することによって生じる呼吸障害のこと

【研究の対象】

2013 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までの間に当院で出生し、在胎 37 週以上かつ出生時に羊水が濁っており NICU に入院した赤ちゃん及び赤ちゃんのお母さん (あなた) の診療録

【調査する項目】

赤ちゃんの診療録：在胎週数、出生体重、性別、分娩方法、Apgar score (1 分、5 分值) ^{※2}、
臍帯血 PH、APR (acute phase reactant) score (日齢 0、1) ^{※3}、
人工呼吸管理の有無、酸素投与の有無

※2：出生時仮死の指標

※3：血液中の炎症を評価する 3 つの検査項目 (CRP、 α_1 AG、HP) の評価方法

あなたの診療録：絨毛膜羊膜炎 (CAM) 及び臍帯炎 (FNS) の有無 (胎盤病理検査結果)、
前期破水の有無、羊水混濁の有無

【調査の方法】

研究担当医師が【研究の対象】となる赤ちゃん及びあなたの診療録より、【調査する項目】の情報を「症例調査票」に記入します。得られた情報をもとに、MAS を発症した赤ちゃんの情報と発症しなかった赤ちゃんの情報を統計学的に比較します。

なお、この研究で使用する情報に、個人を特定する情報 (赤ちゃん及びあなたのお名前、ID、住所等) は含まれませんので、赤ちゃん及びあなたの個人情報外部に漏れることはありません。

この研究に参加したくない (赤ちゃん及びあなたのデータを使ってほしくない) 場合は医療者にその旨をお伝えください。

2018 年 5 月

名古屋市立西部医療センター

小児科 横井 暁子